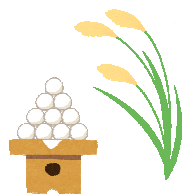


September

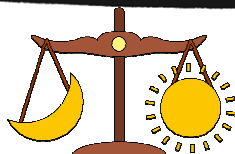
○9月(くがつ)○ ●長月(ながつき)

緑から黄金色に変わった稲も収穫の時期を迎えましたね。
つやつや・ぴっぴかの新米を食べるのが楽しみ♪♪
陽も短くなり、暗くなるのが早くなりました。運転される方にとっては、歩行者や自転車を発見しずらくなります。早めのライト点灯で安全運転を心掛けましょう。携帯やスマートフォンを使用しながらの運転は大変危険ですので、絶対にしないようにしましょう!!



住まいの 第244号 かわらばん

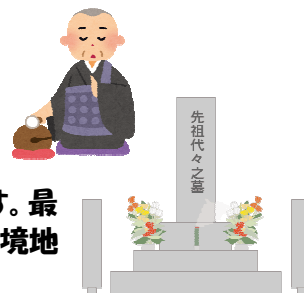
＊ ＊ 秋分の日 ＊ ＊



日付は天文学上の秋分の日。1948年(昭和23年)に「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ。」ことを趣旨としている。毎年9月23日頃。祝日法の上では、「秋分の日」としており、地球が秋分点を通過する日(日本時間)としている。国立天文台が作成する「暦象年表」という小冊子に基づいて閣議で決定され、前年2月第1平日付の官報に「暦要項」を掲載されることにより発表される。

■ □ 彼岸 □ ■

お彼岸は、春と秋の2回あり、春分・秋分の日を中日として前後3日を合わせた7日間をいいます。最初の日を「彼岸の入り」、最後の日を「彼岸明け」と呼ぶ。中日に先祖に感謝し、残る6日は悟りの境地に達するのに必要な6つの徳目「六波羅蜜」を1日に1つずつ修める日とされている。



春彼岸にお供えするのは「ぼたもち」、秋は「おはぎ」。どちらも同じものですが、それぞれ季節の花「牡丹」と「萩」にちなむものです。時節によって呼び方が変わるの、四季の移り変わりに敏感な日本人の豊かな心の表れといえるでしょう。

<ぼたもち、おはぎって?>

うるち米と餅米を混ぜて炊き、米粒が残る程度に俵状に丸めてあんをまぶした物。同じ食べ物を調理の仕方呼び名が違ったが、区別はしだいに薄れてきています。小豆あんの様子を春は「牡丹の花」、秋は「萩の花」に見立てたことからの呼名。



秋の彼岸になると、咲き乱れる彼岸花。別名：曼珠沙華ともいわれ、燃えるような真紅の花。子供の頃、「触ってはいけない」「持って帰ると火事になる」など言われた方も多いのでは? 球根に毒性があるということと関係があるようです。毒は有るものの、非常時には薬になったり、救荒作物としての役割を果たしたそうです。あぜ道に植えると毒によりミミズが生息せず、ミミズを餌とするモグラも近寄らないとか。

◆◆ 今月の祝日 ◆◆

敬老の日: 9月19日 秋分の日: 9月22日

【敬老の日】「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨としている。2002年までは毎年9月15日を敬老の日としていたが、ハッピーマンデー制度により9月の第3月曜日となった。老人を大切に、年寄りの知恵を借りて村作りをしようと「としよりの日」と定めたのが始まりであるとされる。【秋分の日】「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」ことを趣旨としている。休日としては、秋季皇霊祭に続くもの。秋分の日とされる祝日に、宗派を問わず墓参りをする人も多い。

より良い家づくりのための学習グループ

新潟の快適な住まいを考える会

(株)山際総合建設

新潟市西区鳥原170-3

TEL (025) 377-5366

FAX (025) 377-5089

この花の名前は?

コスモス/キク科



種としてのオオハルシャギクを指す場合もある。桃色・白・赤などの花を咲かせる。本来一重咲だが、舌状花が丸まったものや、八重咲きなどの品種が作り出されている。短日植物だが、6月から咲く早生品種もある。日当たりと水はけが良ければ、やせた土地でもよく生育する。

Wikipedia より

知って得する 知恵袋

じんましんと湿疹

肌の一部が赤く腫れて猛烈に痒くなってきた時に疑うのは、じんましんか湿疹。じんましんは突然、赤い膨らみがミミズ腫れのように広がって激しい痒みを伴う。しばらくすると跡形もなく消えてしまう。出たい消えたいを繰り返すことも多い。痒いのは湿疹も同じ。フツフツや赤み、水膨れ、かさつきなど多様な症状が出るのが蕁麻疹と異なる特徴。短時間に出るじんましんと違い、最低でも数日～一週間以上続く。じんましんは適切な対治療法、湿疹は原因を調べて取り除くのが肝要である。